

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	若宮園グループホーム
日付	平成16年4月27日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	・老人性痴呆疾患専門相談チーム員 経験5年 ・病院（老人病棟）での看護業務 経験18年
自主評価結果を見る（事業者の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の実定評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

簡評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
全体的に穏やかで明るい雰囲気の流れがあり、管理者の優しい声かけが印象的である。また、管理者を含め職員の入居者に対する対応は個別で質の高いかかわりができている。 特筆する点としては、排泄に関する対応である。管理者の排泄に関する意識が高く、すべての職員において、入居者の羞恥心に配慮した対応が伺える。排泄に関して表立った誘導はないが、誘導・対応が良好になされている。 職員に看護師が不在であるが、隣接の特別養護老人ホームの看護師との申し送りや連携がスムーズにできており、職員の精神的な安定につながっていると考えられる。利用者の笑顔が生活の快適さを示している。 職員は現状に満足しておらず、前向きな態度が伝わってきた。
特に改善の余地があると思われる点
明るさの中に、時として職員の高音が響くことがある。構造上の問題も考えられるが、入居者に対する穏やかな声かけについて、職員の認識や研修の必要性を感じる。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 家庭的な雰囲気の中で、日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、入居者がその有する能力に応じ、自立した共同生活を送ることができるよう、介護している。入居者が幸せだと思ってもらえるようなグループホームをめざしている。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 常に、気配りや目配りができる配置を心がけている。その中で家庭的な雰囲気の演出、団らんや光彩を大切に工夫がなされている。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 入居者個々の歴史を出来るかぎり知り、援助に生かしている。居室は、基本的にドアを閉め、出入りの時には声掛けするなど、節度ある配慮をしていることが感じられた。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 事故報告書の作成をし、内容に応じた対応・対策をし、全職員周知徹底をはかっている。 管理者の意識は高いレベルにある。		